



編集・発行 対田町青少年育成町民会議 ☎093・434・9838

SNSの危険性を 学びました



青少年のネット環境 に関する講演会



令和四年六月二十四日、対田町中央公民館で、「SNSの危険性について」と題した講演会を開催しました。講師は福岡県警飯塚少年サポートセンター係長の石川弘憲氏。現場で、実際に青少年をサポートしている体験を交えて、SNSが犯罪やいじめの温床になっている実態を語っていただきました。

今年になってから、強盗殺人をめぐる闇バイトの問題、飲食店での「いたずら」をSNSに投稿して拡散するといった重大な問題が

発生しています。
現在の若者はスマートフォンが身近にありすぎるためか、気軽な気持ちで応募や投稿をしているようですが、大きな犯罪に巻き込まれたり、自ら犯罪者になつたりする怖さがあります。ちょっとしたいたずら心によつて、一生を棒に振ることもあるのです。

町民会議では、SNSの危険性に関する啓発を重点項目とし、令和五年度も講演会を開催していくたとっています。

手書きの温かさを見直しました



年賀状の書き方・ 楽しみ方講座



スマートフォンやSNSなどの普及によるデジタル化の進展で、文字を手書きする機会が激減しました。例えば、年賀のあいさつも、年賀状ではなく、メールなどを送ることで済ますことが増えてきました。

しかし、手書きの文字には心を伝える温かさがあることを見直そうと、「年賀状の書き方・楽しみ方講座」を開催しました。講師は、一般社団法人手紙文化振興協会の田中美和さん。

実際に葉書を使つて実習することとで、手書きの言葉を添えることで心を伝えることができる学びました。何よりも日本語の奥ゆかしさや情緒を感じることができました。

齋藤さんが優秀賞受賞



少年の主張福岡県大会



昨年度、苅田町で行われる予定だった少年の主張福岡県大会は新型コロナウイルスの感染者増加のため中止となりましたが、今年度は、九月四日、筑紫野市で、入場制限をとりながらも、実施することができ、町民会議からも役員五名が傍聴に出かけました。

苅田町からは新津中学校3年の斎藤みのりさんが登壇しました。

審査の結果、優秀賞を獲得しました。齋藤さんの主張は3ページに掲載しています。

オアシス人形劇 3年ぶりに再開しました



新型コロナウイルス感染のため、二年間中止していましたオアシス啓発人形劇の公演が一部再開され、九月から十一月の間に七つの園で実施されました。来年度は全園で実施したいですね。（写真は苅田みどり幼稚園の様子）

家庭の日・オアシス作品で 2名が優秀賞獲得



- ポスターの部 ▽ 優秀賞 古川 美唯菜（馬場小1年）、山本亜美（馬場小5年）▽ 奨励賞 渡邊永磨（馬場小4年）、古野朝日（馬場小4年）、丸山爽太（馬場小5年）
- 作文の部 ▽ 奨励賞 木下晴仁（苅田中3年）

家庭の日・オアシス作品で2名が優秀賞獲得しました。

落語家と言えば、東京か関西で活動するのが当たり前ですが、文太さんは、敢えてふるさとの北九州でプロ活動を続けています。それも、落語に出会ったのが二十七歳。若いころはヤンチャだった青年が日本の古典芸能と出会うことでも、夢を見つけました。地域での活動が評価されて西日本文化賞を受賞しています。当日は、生い立ちから師匠（橘家文蔵）との出会いなどを話した後、「時そば」「死神」の落語を披露してくれまし

た。

橘家文太さんの トーク&落語会実施



九月十六日、落語家の橘家文太さんを迎えて、三原文化会館でトーク&落語の会を開きました。

落語家と言えば、東京か関西で活動するのが当たり前ですが、文太さんは、敢えてふるさとの北九州でプロ活動を続けています。それも、落語に出会ったのが二十七歳。若いころはヤンチャだった青年が日本の古典芸能と出会うことでも、夢を見つけました。地域での活動が評価されて西日本文化賞を受賞しています。当日は、生い立ちから師匠（橘家文蔵）との出会いなどを話した後、「時そば」「死神」の落語を披露してくれました。

少年の主張福岡県大会優秀作品

「ドナウ川」「ドナウ川」

新津中学校3年
斎藤みのり

「みなさんは『サイニングストア』という言葉を聞いたことがありますか。『サイニングストア』の「サイニング」とは「手話」のことです。手話が共通言語で聴覚に障がいのある人と聴覚に障がいのない人が共に働くお店のことです。私は『サイニングストア』のことを新聞の記事で知りました。記事は、障がいのある店員のみで運営するコンビニが大阪で開業することを取り上げたものでした。コンビニは接客がおもな仕事なのにどんなふうに仕事をするのだろうと疑問に思いました。筆談用の道具や指さしシートなどを使い、接客や品出し、商品の発注まで全て行うそうです。

A young man with dark hair, wearing a white collared shirt, is singing into a silver microphone. He is looking upwards and slightly to his right. The background is a wooden wall, and a portion of a red and green flag is visible on the right.

て、新たな働き手の確保にもつながるという面もあるようです。一人ひとり「できること」は違つても、その人が「できること」を「できる範囲」でやつていくという取り組みはとても大切なことではないでしょうか。一人ひとりが大切にされるということにつながると思うからです。

障がないのあるなしに関わらず、人は一人ひとり個性があり、違います。違いがあるといふことは、得意、不得意があり、「できること」「できないこと」があるということです。その人、個人にあつた「できること」を見つけていければよいのではないでしょうか。そのためには、お互が何を必要としているか、「知る」ことです。個人に対する理解が大切です。までは、自分の周りを見渡してみましょう。

今、私は中学生で自分の半径5キロメートルくらいの狭い世界しか知りません。ですが、現代では、あらゆる情報をインターネットなどを通じて得ることができます。いろいろな取り組みについても知ることができるのです。障がいのある人もない人も、支援を必要としている人も、していない人も、一緒に「できること」を考え、みんなで社会を創っていくのだという考えが当たり前になつていくことが今こそ求められているのではないかでしょう。

視野を広げ、広い世界について
知り、私にできることから始めて
みようと思います。



宮本武蔵の「二刀流」って

どんな意味があるの?

明るい話題の少ない昨今、多くの人たちが希望をもつて応援しているのが、大谷翔平選手だと思います。投手と打者の「二刀流」は、これまでの野球の常識を超えていきます。一昨年のユーキャン新語・流行語大賞が「リアル二刀流ショータイム」だったことは記憶に新しいですが、野球用語としての「二刀流」が歴史に刻まれたことになりますね。

すが、こここの武蔵は二本の刀を持つてはいません。一本の木刀を振り上げています。

決闘から四十二年後（武蔵の死後九年後）、武藏の養子・伊織（小倉藩家老）が手向山（北九州市小

倉北区)に記念碑を建立します
その碑文には、武蔵は木刀の一撃
で小次郎を倒したと刻まれています。

では、「二刀流」とは何のことでしょうか。武蔵の自著『五輪書』(ごりんのしょ)には次のように書いています。

「一命を捨る時は、道具を残さず役にたてたきもの也。道具を役にたてず、腰に納めて死する事、本意に有べからず」（魚住孝至校注

『定本五輪書』新人物往来社
つまり、せっかく腰に一本の刀を差しているのに、それを使わずには負けるのは本意ではない、といふことだと思います。

この「道具」を「能力」や「技術」と置き換えてみれば、よくわかると思います。自分の夢を実現するために、自分の能力や技術を使い切っていますか、という問いかなのですね。壁にぶつかり、うまくいかないとき、他にやれることがないのか、利用できることはなはないのか、を冷静に考えてみようといふのが、

いうことです。使えるものを使わずに諦めてしまつたら、後悔しますよ、と武蔵は呼びかけているのです。

宮本武蔵は決して高尚な哲学を語る人ではなく、リズムに徹した人です。そこが、『五輪書』が時代を超えて、今でも読まれ続けている理由ではないでしょうか。

(かんだ郷土史研究会・小野剛史)

A vertical photograph showing a bronze statue of a samurai in profile, facing right. He is wearing traditional armor and holding a long sword (tachi) vertically behind his back. The statue is situated in a grassy area with a body of water and a coastal town visible in the background, set against a backdrop of green hills under a bright sky.

(かんだ郷土史研究会・小野剛史)

令和5年 2月21日	役員会
12月9日	スマホの使い方啓発リーフレット配布
11月27日	年賀状の書き方・楽しみ方講座
11月11日	有害図書要望書提出 ウォークラリー大会参加賞配布
10月9日	子どもフェスティバル・親子ふれあい講座
9月16日	橘家文太トーキー＆落語の会
9月8日	家庭の日・オアシス運動作品提出
9月4日	少年の主張福岡県大会傍聴
8月19日	夜間防犯パトロール 有害図書要望書提出
7月29日	役員会
7月20日	オアシス啓発人形劇公演（以後11月9日まで）
7月6日	かんだ港まつり花火大会翌日清掃活動参加 青少年のネット環境に関する講演会
6月24日	総会
5月16日	理事会
4月22日	4月15日